



2021年5月20日

各位

会社名 SMK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光  
(コード番号 6798 東証第1部)  
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平  
(TEL. 03-3785-5334)

中期経営計画策定に関するお知らせ  
～持続的に成長する、競争力の高い、ソリューション企業を目指して～

当社は、中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の背景と骨子

当社は、「新たな成長に向けて－Confidence & Transformation」をスローガンとして掲げ中期経営計画を策定いたしました。

当社を取り巻く事業環境は大きく変化しつつあります。自動車産業においてはCASEの進展により、情報通信産業においては5G・IoTなどの技術革新の進展により市場構造に大きな変化が起こりつつあります。新型コロナウイルス感染拡大は世界経済への影響だけでなく生活様式にも変化をもたらしています。

当社はこうした事業環境の変化を踏まえて、成長戦略の実行と更なる企業体質強化により、事業基盤を強固なものにしてまいります。「売上拡大と安定的な利益創出」と「新たな成長に向けた企業構造改革」を中期経営計画の基本方針として、これを実現するための重点施策を実行するとともに、環境・社会との共生を通じ持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

2. 中期経営目標（2022年3月期～2024年3月期）

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)	2023年3月期 (目標)	2024年3月期 (目標)
売上高	485億円	485億円	526億円	607億円
営業利益率	2.2%	1.0%	3.0%	5.0%
ROE	7.3%	2.5%	5.0%	8.0%
ROA	5.2%	2.0%	4.0%	6.0%
期末有利子負債残高 (運転資金)	113億円	108億円	104億円	100億円
為替平均レート (1USD=)	105.87円	108円	105円	105円

(注) 本資料に記載された業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって本資料の記載内容と異なる可能性があることをご承知おきください。

2021年5月20日

# SMK株式会社

## 中期経営計画

### FY2021-FY2023

新たな成長に向けて — Confidence & Transformation

代表取締役社長 池田 靖光



2020年は新型コロナウイルス感染拡大によりロックダウンがおり、サプライチェーンが混乱するなど世界的に経済活動が大きな制約を受けることとなりました。また、ウイルス感染拡大は大きな閉塞感と危機感をもたらし人々の生活様式にも影響を与えることとなりました。一方でコロナワクチンの開発・接種が進み、コロナウイルス拡大に一定の歯止めがかけられつつあり、2021年の世界経済はコロナを前提として緩やかな回復軌道に向かいつつあります。自動車産業においてはCASEが進展し、情報通信産業においても5G・IoTの普及拡大などの技術革新が進むなど、市場・産業構造全体に大きな変革が起こりつつあり、新しいビジネスチャンスが生まれてきております。

SMKは市場環境が激変する中でここ数年業績低迷を続けてまいりました。今次中期計画は、全社的なビジョン・テーマを明確化し業績低迷からの脱却に向けて具体的な戦略を策定したもので、成長戦略の実行と更なる企業体質強化を企図しております。

今次中計計画期間においては、安定収益確保に努めるとともに、長期的な目線に立ち基盤整備を進め継続的な成長軌道への道筋をつけたいと考えております。次（FY2024以降）の中期経営計画期間でのビジネス拡大・新規事業創出に繋がる施策や企業構造改革にも焦点を当てております。

SMKは社会や顧客が抱える課題に対し、様々なモノやヒトを創造的に繋げることで、独自のソリューションを提案できる企業グループを目指します。

また、Creativityに富み、果敢にChallengeし、優れたSolutionsを提供できる人材を育成する組織と企業文化に重きを置き、長期的に社員が成長できる企業グループを目指します。

SMKは、社会から必要とされる企業、人材を育成する文化を持つ企業でありたいと思っております。

代表取締役社長

**池田 靖光**

経営  
理念

“ SMKは可能性の追求を通して  
総合的な高度技術により、  
情報社会の発展に寄与する。 ”

SMK's ビジョン

**CREATIVE CONNECTIVITY** – Challenge, Creativity, Solutions

ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノを創造的に繋げることで、  
社会やお客様が抱える課題を解決し、よりよい社会と未来に貢献していく  
そのためにも、SMK社員の誰もがクリエイティビティを発揮できるように環境を整え、  
社員のチャレンジを奨励していく

中期経営計画

“ 新たな成長に向けて  
— Confidence &  
Transformation ”

基本方針

- 売上拡大と安定的な利益創出
- 新たな成長に向けた企業構造改革

環境認識

- 米中覇権争いと貿易摩擦の長期化
- 新型コロナウイルスがもたらした生活様式の変化
- 市場・産業構造変革の大きなうねり
- 社会的要請の多様化
- DXの進展

## “あるべき姿” — FY2023に向けて「変革」

持続的に成長する、  
競争力の高い、  
ソリューション企業へ

FY2023目標

売上高  
**607**  
億円

営業利益  
**31**  
億円

営業利益率  
**5**  
%

ROE  
**8**  
%

### コスト競争力の強化

品質強化  
業務フロー・ワークフローの見直し  
自動化の推進とスマート工場化への取り組み

### 付加価値の高い製品への注力

事業・製品ポートフォリオの見直し  
オープンイノベーションの加速

### ビジネスモデルの多様化

市場トレンド・顧客ニーズを捕捉した提案型営業  
ハードウェア + ソフトウェア + サービス

## CSビジネス

- 車載市場への取り組み強化
- 5G関連コネクタビジネスの強化
- ウェアラブル市場への取り組み強化

## SCI／開発センタービジネス

- ヘルスケア市場への新たな取り組み
- IoT／ウェアラブル市場への取り組み強化
- ワンストップソリューションの強化

## 基本方針

売上拡大と安定的な利益創出

新たな成長に向けた企業構造改革

## 注力する成長市場

- CASE
- 5G
- ウェアラブル
- IoT
- ヘルスケア

## 企業構造改革

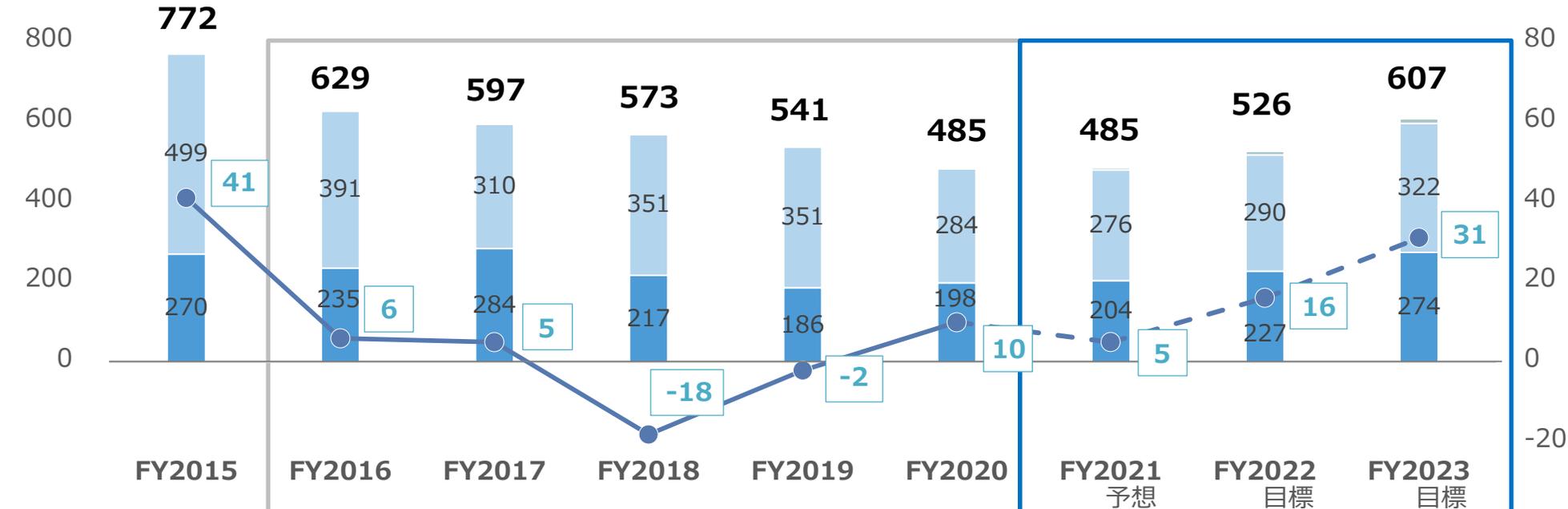
- 生産効率の向上  
(自動化・スマート工場化の推進)
- 全体品質の向上  
(フロントローディング型開発の強化)
- 業務フローの見直しと再構築による  
業務効率化推進
- モノづくりと成長事業を支える人材の育成と確保
- 社員が最大限に能力を発揮できる人事制度改革

# セグメント別 取り組み方針

売上高

単位：億円

営業利益



- CS
- SCI
- 開発センター
- その他
- 営業利益

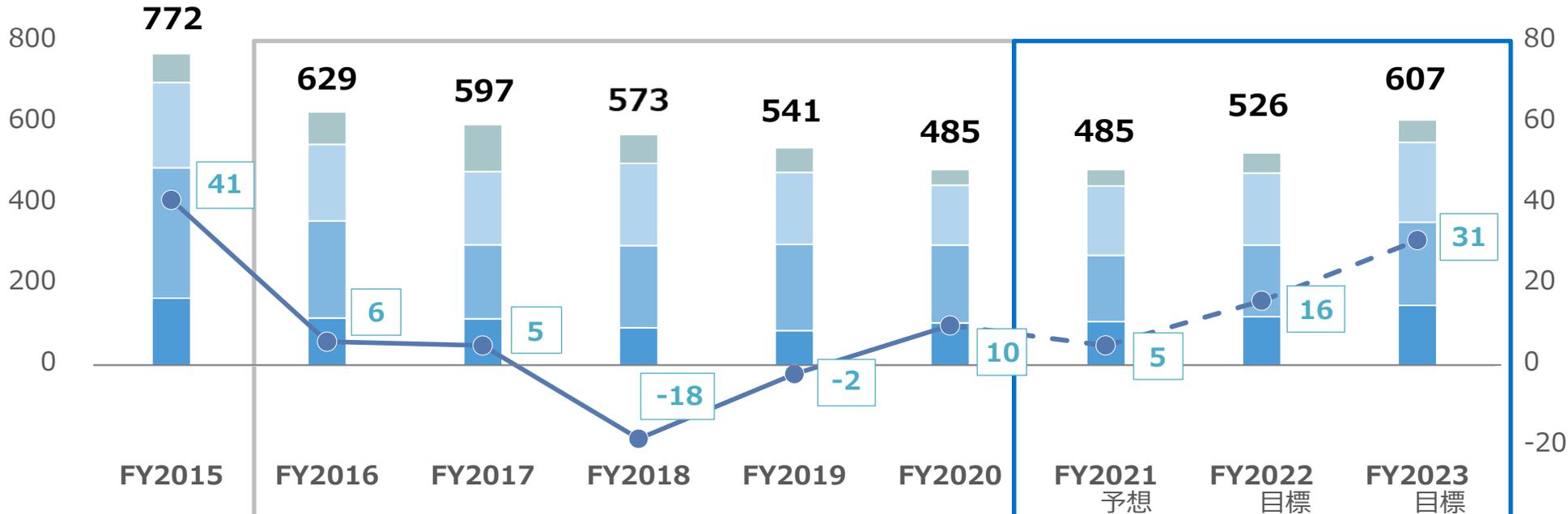
過去5年間	中期経営計画
<p><b>CS ビジネス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 車載市場 同軸技術の強みを生かしカメラコネクタを中心に売上拡大</li> <li>● スマホ向けコネクタ 競争激化によりシェアダウン</li> <li>● コロナウイルス拡大と生活様式の変化 ~タブレット等の需要増 (FY2020)</li> </ul> <p><b>SCI + 開発 センター ビジネス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SCI リモコンが家電からサニタリー及びIP-STBの大型案件獲得にシフトし売上規模維持一方TPビジネスは縮小</li> <li>● 開発センター 無線関連ビジネスに注力するも市場が伸び悩み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車載市場への取り組み強化</li> <li>● 5G関連コネクタビジネスの強化</li> <li>● ウェアラブル市場への取り組み強化</li> <li>● ヘルスケア市場への新たな取り組み</li> <li>● IoT/ウェアラブル市場への取り組み強化</li> <li>● ワンストップソリューションの強化</li> </ul>

# 市場別 取り組み方針

売上高

単位：億円

営業利益



- 情報通信
- 家電
- 車載
- 産機・その他
- 営業利益

## 過去5年間

- **売上減少**  
タッチパネル市場のコスト競争激化  
スマホ市場の競争激化  
Streaming（映像）市場の急成長と競争激化

- **コスト競争の激化**

- **新規事業創出進まず**

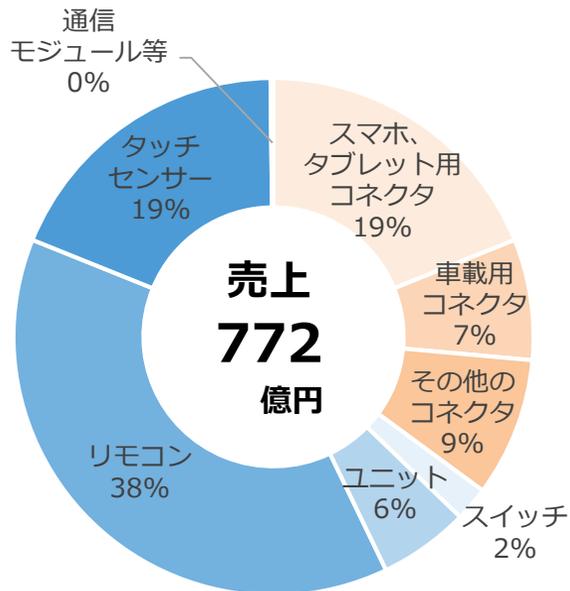
## 中期経営計画

- **新規分野への取り組みによる事業基盤の拡充** 車載、ヘルスケア、5G等
- **ソリューション営業による売上拡大**
- **SDGs関連製品の積極開発**

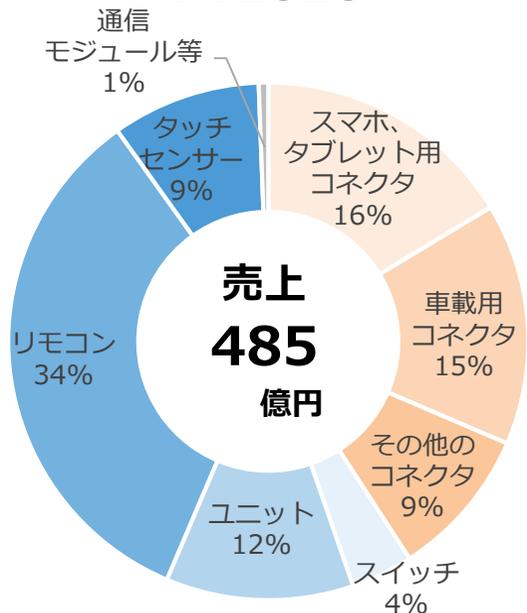
- **QCDの強化**
- **DXの推進** スマート工場化
- **業務効率の改善**

- **機動的な経営資源の再配分**
- **オープンイノベーションの加速**

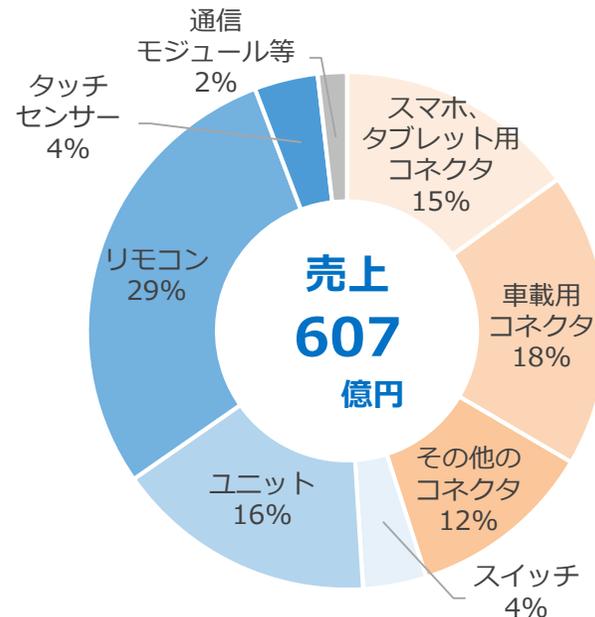
## FY2015



## FY2020



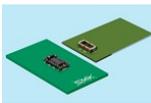
## FY2023目標



### 主要製品

車載カメラ用コネクタ伸長、STB用リモコン大幅増、車載用タッチパネル堅調

- 基板対FPCコネクタ (スマホ)
- 車載カメラコネクタ (アナログ)
- PVコネクタ



- リモコン (STB、エアコン、サニタリーなど)



- 車載用タッチパネル (抵抗膜)

### 主要製品

車載カメラ用コネクタ続伸、タブレット用コネクタ好調、車載用タッチパネル減少

- 基板対電線コネクタ (タブレット)
- 車載カメラコネクタ (アナログ & デジタル)
- ゲーム用コネクタ

- リモコン (IP-STB、住設など)

- 車載用タッチパネル (静電容量)



### 主要製品

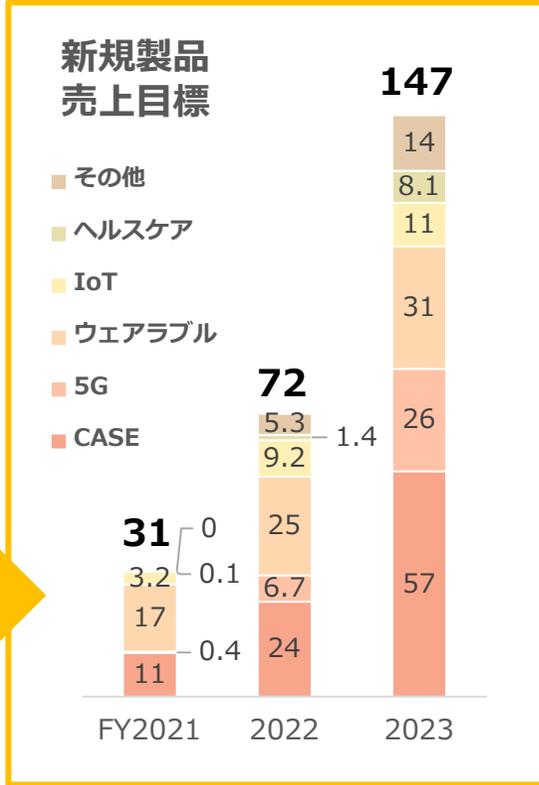
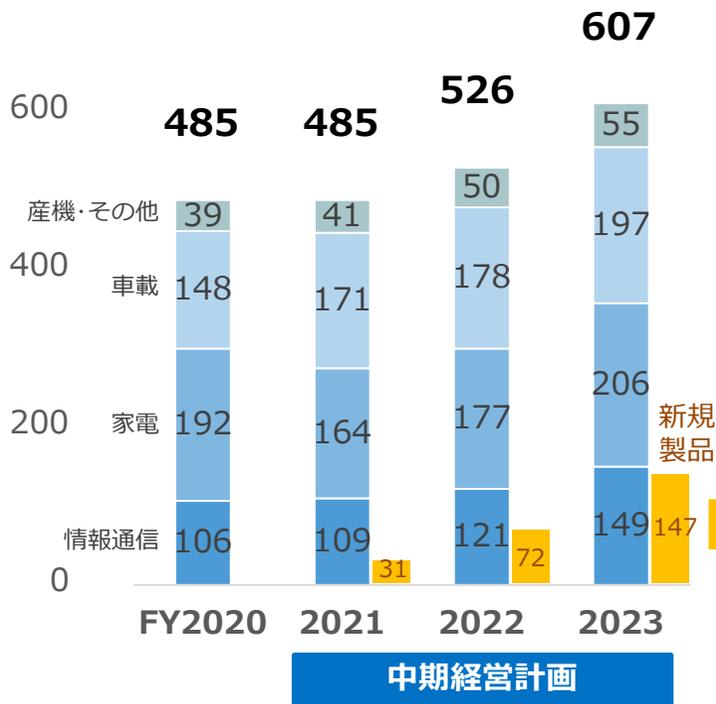
車載用コネクタ拡充、5G向けコネクタ開発受注、各種生体センサー受注 (ウェアラブル・ヘルスケア向け)

- 5G向け高周波コネクタ
- 車載カメラコネクタ (デジタル)
- ウェアラブル向けコネクタ

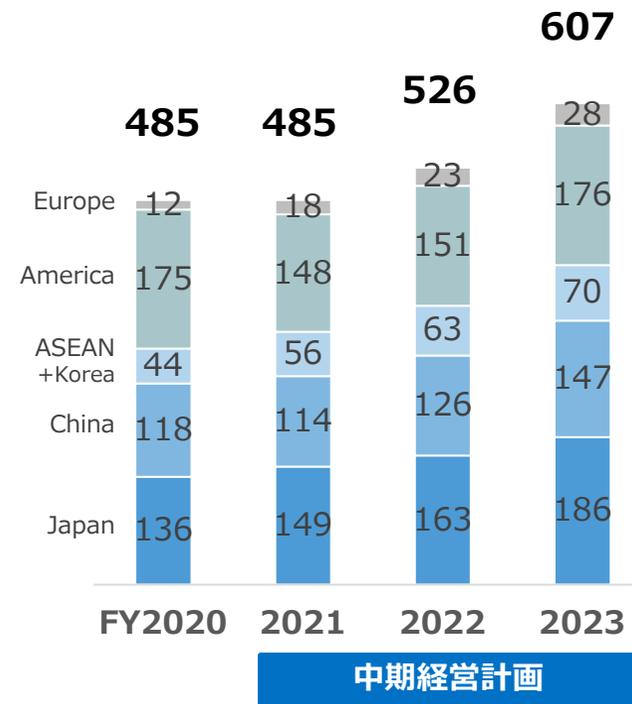
- 車載市場向け操作ユニット
- ヘルスケア関連ユニット

- リモコン (ワイヤレス電力伝送など)

## (1) 市場別売上目標



## (2) 地域別売上目標



### 市場別重点取り組み分野・製品

- ◆ 情報通信市場 5G端末・基地局向けRFコネクタ、ウェアラブル向けテキスタイルコネクタ
- ◆ 家電市場 RF技術を生かした新規ユニット&リモコン、自動組立対応コネクタ
- ◆ 車載市場 カメラコネクタ、電装品用コネクタ、乗員検知・生体センサー、操作ユニット
- ◆ 産機・その他市場 IoT向け無線通信モジュール、インフラ向けユニット&コネクタ

各地域内の拠点が連携し **営業** - **設計** - **生産** - **販売** を完結できる **一貫体制** を確立



## E 環境経営

- カーボンニュートラルの推進
- 環境に配慮した製品設計（省資源化）
- 水資源の保全



太陽光発電所



従業員用に安全な水の内製（フィリピン）



## S 社会的責任

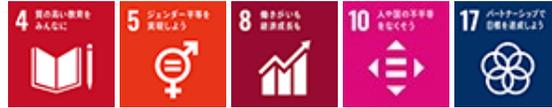
- サプライチェーン・コンプライアンスの徹底
- 地域社会との共生
- 多様性、ジェンダー平等の推進
- 従業員エンゲージメントの向上



インターンシップの受け入れ



異文化研修



## G ガバナンス

- コーポレート・ガバナンスの強化
- コンプライアンス体制の強化
- リスクマネジメントの推進

株主・投資家との対話



## 事業

社会の課題を解決する  
製品・サービスの開発

- ◆ 情報社会の発展への貢献  
5G、ウェアラブル  
(遠隔医療、ICT教育)



5G対応コネクタ

- ◆ 持続可能なエネルギー活用への貢献  
IoT、スマートホーム



エネルギーハーベスティング機能付デバイス

- ◆ 交通事故の防止への貢献  
CASE（車載）



車載用電波式生体センサー

- ◆ あらゆる人々の健康増進への貢献  
ヘルスケア



見守りセンサー



## ◆売上拡大と安定的な利益創出◆

単位：億円

		FY2020 実績	FY2021 予想	FY2022 目標	FY2023 目標
売上高	CS	198	204	227	274
	SCI	284	276	290	322
	開発	3	5	9	11
	その他共計	<b>485</b>	<b>485</b>	<b>526</b>	<b>607</b>
営業利益	CS	14.4	6.7	11	22
	SCI	-0.7	0.5	6	10
	開発	-2.7	-2.2	-1	-1
	その他共計	<b>10.7</b>	<b>5.0</b>	<b>16</b>	<b>31</b>
(率)		2.2%	1.0%	3.0%	5.0%
経常利益		<b>26</b>	<b>10</b>	<b>21</b>	<b>35</b>
当期純利益		<b>19</b>	<b>7</b>	<b>15</b>	<b>25</b>
為替平均レート (1USD=)		105.87円	108円	105円	105円

## ●設備投資計画

単位：億円

	FY2020 実績	FY2021-2023 計画(累計)
新製品生産設備投資	<b>14</b>	<b>58</b>
生産性向上投資	<b>5</b>	<b>30</b>
更新投資	<b>3</b>	<b>8</b>
計	<b>22</b>	<b>96</b>

### ●財務体質の強化

- 有利子負債（運転資金）の削減  
— 新たな投資余力の創出
- キャッシュフロー経営に向けた基盤整備

### ●ROE、ROA、有利子負債 残高推移

	FY 20 15	FY 20 16	FY 20 17	FY 20 18	FY 20 19	FY 20 20	FY 20 21	FY 20 22	FY 20 23
ROE (%)	8.0	3.2	-0.9	-2.8	-9.9	7.3	2.5	5.0	8.0
ROA (%)	5.3	2.2	0.6	-1.2	-0.3	5.2	2.0	4.0	6.0
有利子 負債残高 (期末：億円)	175	184	173	189	152	113	108	104	100